

## 第 92 回規格会議

2014年7月31日、第92回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。今回は標準規格の策定3件、改定17件、技術資料の改定5件、廃止1件が提案のとおり決議されました。標準規格、技術資料の策定、改定及び廃止の概要は以下のとおりです。



第 92 回規格会議の様子

### 第 92 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定、改定及び廃止の概要

規格番号	規格名	概要
RCR STD-15 5.1 版	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備標準規格	本標準規格は、電波法施行規則第 6 条に規定される特定小電力無線局のうち、ラジオマイクの用途に使用する無線設備について規定したものである。 今回の改定は、ラジオマイクの分類を追記するものである。
RCR STD-22 3.2 版	特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備標準規格	本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定したものである。 (本標準規格で規定する無線設備は、TV ホワイトスペース帯、特定ラジオマイク専用帯又は 1.2GHz 帯へ周波数移行することとなっている。本標準規格

規格番号	規格名	概要
		<p>は周波数移行する前の 770～806MHz の周波数を使用する無線設備について規定したものである。）</p> <p>今回の改定は、ラジオマイクの分類の追記、特定ラジオマイク利用者連盟の法人化に伴う名称変更を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-T63 Ver.10.40 及び ARIB TR-T12 Ver.10.40</p>	<p>IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report</p>	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 91 回規格会議（2014 年 3 月開催）において 2013 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 4 からリリース 11（LTE-Advanced 仕様は含まない。）までの仕様及び技術資料をベースに Ver. 10.30 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2014 年 3 月までに 3GPP が制定したリリース 4 からリリース 11（LTE-Advanced 仕様は含まない。）までの仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p>
<p>ARIB STD-T64 Ver.6.70 及び ARIB TR-T13 Ver.6.70</p>	<p>IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report</p>	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 91 回規格会議（2014 年 3 月開催）において 2013 年 11 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.60 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2014 年 3 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p> <p>なお、技術資料 ARIB TR-T13 については、新規規格の追加や既存規格の改定はないが、ARIB STD-T64 のバージョンアップに合わせてバージョンを Ver.6.70 に改定するものである。</p>
<p>ARIB STD-T94 Ver.3.2</p>	<p>OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD</p>	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 28 に規定される「直交周波数分割多元接続方式広帯域移動無線アクセスシステムの無線局の無線設備」、及び無線設備規則第 49 条の 29 に規定される「時分割・直交周波数分割多元接続方式又は時分割・シングルキャリア周波数分割多元接続方式広帯域移動無線アクセスシステムの無線局の無線設備」について規定されたものであり、第 68 回規格会議（2007 年 12 月開催）で Ver. 1.0 が策定された。</p> <p>今回の改定は、STD-T94 が引用している WiMAX フォーラム標準の改定及び関係省令の改正に対応して行うものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T95 Ver.3.2	OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 29 に規定される「時分割・直交周波数分割多元接続方式又は時分割・シングルキャリア周波数分割多元接続方式広帯域移動無線アクセスシステムの無線局の無線設備」について規定したものであり、第 68 回規格会議（2007 年 12 月開催）で Ver. 1.0 が策定された。</p> <p>今回の改定は、電波法関係規則の改正及び XGP 標準規格の改定を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p> <p>なお、標準規格改定に至る経緯は以下のとおりである。</p> <p>2013.5.17 情報通信審議会、「2.5GHz 帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件」のうち「広帯域移動無線アクセスシステムの高度化に関する技術的条件」を答申</p> <p>2013.7.22 及び 2013.12.25 電波法関係規則の改正</p> <p>2014.2.28 XGP Forum、XGP 標準規格を改定（規格名：A-GN4.00-03-TS Ver.3.1）</p>
ARIB STD-T101 1.3 版	時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 の 2 に規定される時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備（DECT 準拠方式）について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、キャリア番号（周波数に付与する番号）について追記するものである。</p>
ARIB STD-T104 Ver.2.40	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 91 回規格会議（2014 年 3 月開催）において 2013 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 11 までの LTE-Advanced 仕様をベースに Ver.2.30 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2014 年 3 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 11 までの LTE-Advanced 仕様に対応するように改定するものである。</p>
ARIB STD-T112 1.3 版	特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備（TV ホワイトスペース帯、特定ラジオマイク専用帯、1.2GHz 帯）標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定したものである。</p> <p>（本標準規格は、TV ホワイトスペース帯、特定ラ</p>

規格番号	規格名	概要
		<p>ジオマイク専用帯又は 1.2GHz 帯へ周波数移行した無線設備について規定したものである。）</p> <p>今回の改定は、ラジオマイクの分類の追記、総務省告示の追記、運用調整の仕組みの反映、周波数を表す用語の変更及び標準規格名称の変更を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B60 1.0 版</p>	<p>デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送における MMT (MPEG Media Transport) による映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>MMT は、2014 年 3 月に ISO/IEC で ISO/IEC 23008-1 として標準化された方式であり、放送や通信など複数の伝送路でのメディア伝送に適用できるという特徴を有する。</p> <p>2014 年 3 月 25 日の情報通信審議会答申「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件のうち衛星基幹放送及び衛星一般放送に関する技術的条件」を受けて整備された国の技術基準(省令、告示)に基づいて放送を実施するために必要な標準規格として策定するものである。</p>
<p>ARIB STD-B61 1.0 版</p>	<p>デジタル放送におけるアクセス制御方式(第 2 世代)及び CAS プログラムのダウンロード方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、11.7GHz～12.2GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う標準テレビジョン放送、高精細度テレビジョン放送、超高精細度テレビジョン放送、超短波放送及びデータ放送並びに 12.2GHz～12.75GHz の周波数帯の衛星基幹放送局が行う帯域幅 34.5MHz の標準テレビジョン放送、高精細度テレビジョン放送、超高精細度テレビジョン放送、超短波放送及びデータ放送に適用する「デジタル放送における第 2 世代のアクセス制御方式」及び「ダウンロードダブル CAS」を規定するものである。</p> <p>なお、標準規格策定の経緯は以下のとおりである。</p> <p>2014.3.25 情報通信審議会、「放送システムに関する技術的条件」のうち「超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件」のうち「衛星基幹放送及び衛星一般放送に関する技術的条件」を一部答申</p> <p>2014.6.11 電波監理審議会、超高精細度テレビジョン放送システムに関する技術的条件に係る電波法施行規則の一部を改正する省令等を答申</p> <p>2014.7.3 制度の公布及び施行</p> <p>CAS : Conditional Access System</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-B62 1.0 版	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式（第 2 世代）標準規格	<p>本標準規格は、超高精細度テレビジョン放送のデータ放送方式の標準化を契機に、デジタル放送における第 2 世代のデータ符号化方式として、HTML5 ベースのマルチメディア符号化方式を含む新たな方式を規定するものである。</p> <p>本標準規格は、二編から構成されており、第一編は 3 部構成からなる。第一編 第 1 部はデータ放送のためのレファレンスモデルを規定、第 2 部はモノメディア符号化を規定、第 3 部は字幕・文字スーパーの符号化を規定、第二編はマルチメディア符号化方式言語仕様を規定するものである。</p>
ARIB STD-B1 3.0 版	CS デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）	<p>本標準規格は、12.2～12.75GHz 帯 27MHz 帯域幅の狭帯域／高度狭帯域伝送方式による CS デジタル放送用受信装置の最小限の機能、定格及び望ましい仕様について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省令の改正を受け、第 2 部 高度狭帯域伝送方式による CS デジタル放送用受信装置に関する規定に、主に HEVC 映像符号化による 4K 放送の受信機能を追加するために改定するものである。</p> <p><b>HEVC : High Efficiency Video Coding</b></p>
ARIB STD-B10 5.4 版	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、衛星基幹放送及び衛星一般放送における超高精細度テレビジョン放送に係る技術的条件についての情報通信審議会答申及び国の技術基準整備（省令及び告示）を受けて、放送を実施するために必要となる詳細を規定するものである。</p>
ARIB STD-B21 5.5 版	デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）	<p>本標準規格は、デジタル放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、受信機ソフトウェアなどのダウンロード機能に関し、限定受信機能の更新機能、<b>maker_id</b>（製造者識別）の拡張及び通信経由でのダウンロード規定の追加などを行うため、本編第 12 章と付属 3 を改定するものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-B24 6.0 版	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるデータ放送の符号化方式及び伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、デジタル放送におけるダウンロードで使用する SDTT (Software Download Trigger Table) のメーカ ID (製造者識別) 拡張提案を受けて、データ放送においてメーカ ID を利用する関数の規定の見直し及び明確化を行うものである。</p>
ARIB STD-B25 6.4 版	デジタル放送におけるアクセス制御方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるアクセス制御方式において、第 1 部に受信時の制御方式である限定受信方式を規定、第 2 部に再生時の制御方式である限定再生方式を規定、第 3 部に受信時の制御方式であるコンテンツ保護方式を規定、第 4 部にセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送のアクセス制御方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数を使用する地上基幹放送局を用いて行うマルチメディア放送のうちセグメント連結伝送方式によるもの (以下、V-Low マルチメディア放送) の追加等の省令及び告示の改正を受けて、V-Low マルチメディア放送の規定を第 4 部に追加するものである。</p>
ARIB STD-B32 3.0 版	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格	<p>本標準規格は、3 部から構成されており、第 1 部はデジタル放送における映像信号と映像符号化方式を規定、第 2 部はデジタル放送における音声信号と音声符号化方式を規定、第 3 部はデジタル放送における伝送信号の多重化方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、衛星基幹放送及び衛星一般放送における超高精細度テレビジョン放送に係る技術的条件についての国の技術基準整備 (省令及び告示) を受けて、本標準規格と省令・告示との整合を図るとともに、放送を実施するために必要となる詳細を規定するものである。</p>
ARIB STD-B44 2.0 版	高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式標準規格	<p>本標準規格は、高度広帯域衛星デジタル放送における伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、衛星基幹放送及び衛星一般放送における超高精細度テレビジョン放送に係る技術的条件についての国の技術基準整備 (省令及び告示) を受けて、本標準規格と省令・告示との整合を図るとともに、放送を実施するために必要となる詳細を改定するものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-B53 2.0 版	セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）	<p>本標準規格は、移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、セグメント連結伝送方式によるものに関し、その受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省の省令及び告示の改正（一部改正及び告示の廃止・新設を含む）を受けて、新たに第2部としてVHF-Low帯に適用するISDB-T<sub>SB</sub>方式による地上マルチメディア放送用受信装置を規定するものである。なお、既存の規格は第1部としてVHF-High帯に適用するISDB-T<sub>mm</sub>方式による地上マルチメディア放送用受信装置を規定するものである。</p>
ARIB TR-B14 5.6 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、第八編（コンテンツ保護規定）5.5版におけるリモート視聴機能の規定追加に伴い、第二編（受信機機能仕様書）及び第四編（PSI/SI 運用規定）を改定するとともに、AIT コントロールドアプリケーション連携機能（フェーズ1）に関する明確化等のために第三編（データ放送運用規定）を改定するものである。</p> <p>PSI : Program Specific Information SI : Service Information AIT : Application Information Table</p>
ARIB TR-B15 6.5 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域CS デジタル放送の放送局での運用並びにBS デジタル放送受信機及びBS・広帯域CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、リモート視聴要件に伴う追記を行うものである。</p>
ARIB TR-B33 2.1 版	VHF-High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、207.5MHz 以上 222MHz 以下の周波数の電波（VHF-High 帯）を使用する地上基幹放送局を用いて行う地上テレビジョン放送及びセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送（ISDB-T<sub>mm</sub> 方式）の運用を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、新事業者参入に伴う各種IDの新規割当てと、ARIB STD-B53 2.0版に整合させるための参照先の章番号等の変更を行うものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB TR-B13 2.4 版 (廃止)	地上デジタル音声放送 運用規定技術資料	<p>2002 年 5 月 30 日に策定された本技術資料は、総務省令・告示及び ARIB 標準規格の規定に従い実施される標準テレビジョン放送等のうち、地上デジタル音声放送において、実運用で使用される技術パラメータを特定するとともに、運用の細部について規定したものである。</p> <p>社団法人デジタルラジオ推進協会において、2003 年 10 月から実施してきたデジタルラジオ（地上デジタル音声放送）実用化試験放送は 2011 年 3 月 31 日で終了した。</p> <p>今回、一般社団法人放送波遮蔽対策推進協会（旧社団法人デジタルラジオ推進協会）から、本技術資料は実運用上使用されておらず、今後も使用する可能性がないため廃止したい旨の提案があったため、本技術資料を廃止するものである。</p>